

	課題内容	昨年度までの効果検証	目標	課題に対応する施策/継続施策
課題 1	<p>【課題分類】 社員の感染症予防</p> <p>【課題】 業務上高齢者との接点が不可欠であるが、感染症予防に有効なインフルエンザの予防接種が必ずしも十分とは言えない</p> <p>【根拠】 2019年の実施率が70%に満たなかったため</p>	<p>各事業所ごとにインフルエンザ予防接種の受診対象者を明確にし、管理・フォローできる体制を新たに構築。</p> <p>2019年度 → 2020年度 65.3% → 約89%</p>	<p>予防接種の実施率をさらに向上させる。</p> <p>2021年度目標値 90%以上</p>	<p>①社員へ感染症予防の必要性の徹底周知（社内の感染情報専用の掲示板で適宜情報発信、入職時研修内での周知）</p> <p>②各事業所ごとにインフルエンザ予防接種の受診対象者を明確にし、管理・フォローを行う</p> <p>③インフルエンザ予防接種の全額補助、感染時は特別休暇認定</p>
課題 2	<p>【課題分類】 社員の生産性低下防止・事故発生予防</p> <p>【課題】 業務上腰痛発症リスクが高い</p> <p>【根拠】 2017年度腰痛アンケートにより、腰痛を感じているケア・看護スタッフの約45%が腰痛ありと回答。また、介助中の負担ありと回答した割合が76%に上った</p>	<p>2018年度アンケートでは福祉用具（グローブ・スライディングボード・スライディングシート・リフター等）の使用が多いものでも約4割だったが、2020年度は全事業所において福祉用具の使用が定着している。グローブに関しては、各事業所で方法は異なるが、勤務中に常に携帯していたり、ご入居者の居室に置いておくなどして、必要時使用できる様な体制が出来ている。</p>	<p>ケア中の腰痛の悪化を防ぐ「ノーリフトケア®」が社員へ浸透した。今後も継続して取り組みは行っていくが、課題としては完了とする。</p>	<p>①昨年度作成した腰痛予防体操動画を積極的に活用していく。</p> <p>②ノーリフトケア®推進委員会の活動を継続して行っていく。また、新入社員への教育を徹底する。</p> <p>③ノーリフトケア®に必要な物品の購入</p>
課題 3	<p>【課題分類】 社員の喫煙率低下</p> <p>【課題】 喫煙は健康に悪影響を与えることが分かっている中で当社の喫煙者が多い。</p> <p>【根拠】 他のグループ会社に比べ、喫煙率の値が高いため</p>	<p>2020年度より取り組みを開始する。</p> <p>2019年度 喫煙率 当社 21.4%</p> <p>2020年度 喫煙率 当社 18.4%</p>	<p>2020年度の日本国民の喫煙率は16.7%であり、依然それより高い数値となっている。今後も継続して喫煙率の改善を目指す。</p> <p>2021年度目標 17.5%</p> <p>2023年度 16.5%を目指す</p>	<p>①禁煙に関する啓蒙活動 社内ニュースの発行、栄養指導等</p> <p>②禁煙外来費用補助、禁煙補助剤の一部費用補助</p>